

令和元年度 管理業務主任者試験解答速報 【12/9版】

問1	2	問11	2	問21	1	問31	3	問41	4
問2	1	問12	1	問22	3	問32	2	問42	4
問3	3	問13	2	問23	1	問33	4	問43	2
問4	1	問14	3	問24	2	問34	2	問44	1
問5	4	問15	3	問25	2	問35	3	問45	2
問6	1	問16	4	問26	4	問36	1	問46	4
問7	3	問17	1	問27	4	問37	2	問47	1
問8	1	問18	1	問28	3	問38	1	問48	2
問9	3	問19	2	問29	3	問39	4	問49	3
問10	2	問20	4	問30	4	問40	3	問50	3

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。
※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは34点前後です。あくまでもTAC独自の予想であり、合格を保証するものではありません。本予想ラインは変更の可能性もございます。あらかじめご了承ください。

TAC 管理業務主任者講座

令和元年度管理業務主任者試験講評

(本試験所感)

問題全体の難易度は、昨年同様、ひっかけ問題、個数問題や組合せ問題があったものの、解答を出しやすい問題も散見された。

今年度も、いかに過去問題の論点を把握し、同様論点の繰り返し問題から1点でも正解につなげ、得点を伸ばせたかが、合否を分ける要因となったのではないか。

(民法・区分)

民法は、過去に出題されていない論点からの出題がなされ、難化したと思われる。

区分所有法は、規約との混合問題や、あてはめが困難な問題も出題され、こちらも難化している。

また、建替え等円滑化法も出題されているが、過去問を検討していれば解けるであろう。

(規約・会計)

標準管理規約は、基本的なものも多かったが、一方で団地型のみならず、複合用途型が初めて出題された。

標準管理委託契約書は4問出題され、税法は出題されなかった。

宅建業法・品確法・借地借家法は基本的な内容であった。

会計は、従来 of 知識で解けるものの応用的な内容で、正解を導くのに時間がかかるものとなった。

(維持・保全)

例年通り、過去問未出の論点も多く、難易度は高かった。ただし、重要論点や重要数字である程度、選択肢を絞ることもできたので、基本論点を確実に身につける必要がある。また、長期修繕計画作成ガイドラインが2問出題された。

今後の出題が予想されるので注意したい。

(適正化法)

昨年同様、個数問題が出題された。昨年と同程度で多少難しい通達論点が目立ったが、比較的解答を出しやすかったと思われる。

※この講評の著作権はTAC株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。